

新庁舎の運用見直し

新庁舎建設事業は、2021年春の開庁まで、いよいよ2年余の期間を残すのみとなりました。

柴橋市長が、ビジョンとして掲げる「**市民本位で、多様な価値観を創出する庁舎**」を実現するため、今後、新庁舎の運用の見直しや充実を図っていききたいと考えています。

1 「新庁舎運用計画」の策定

これまで、市民の皆様や職員などから、庁舎の運用に関する意見を1,000件余り頂いており、これらを最大限活用するとともに、庁舎の運用や活用策を、包括的・体系的にまとめた「**新庁舎運用計画**」を策定します。

ハード… 新庁舎の建設

- ・防災拠点機能
- ・総合窓口
- ・にぎわい創出機能
- ・各種便利施設の導入など



ソフト… 「新庁舎運用計画」の策定 (2020年度末公表予定)

- ・市民の皆様や職員、議会や専門家の意見を最大限に活用
- ・市長の運用見直し項目の反映
- ・新庁舎の運用や活用策を、包括的・体系的に整理



2 運用の見直しや充実策

No	項目	対応
1	市長と市民との 対話スペース	・市民の皆様との対話を進めるため、規模や開催形式に応じ、最適な空間を整備します。 市民交流スペース(1階)、エントランスモール(1階)、多目的スペース(7箇所) など
2	ワンストップサービスの 充実	・庁舎1階に「総合窓口」を開設します。 ライフイベント(出生、婚姻、転入等)関連の約89.7%を処理 申請手続き(35種類86項目)+証明発行(49種類)(2018年12月現在) ・1~3階に窓口部署や便利施設(銀行、郵便局、ATM、レストラン、コンビニ)を集約します。
3	庁舎の ネーミングライツ	・庁舎内の市民に親しまれる空間を対象に愛称を公募します。 市民交流スペース(1階)、みどりの丘(4階) など
4	商業施設の誘致	・多様なスタイルの小規模店舗(ワゴンショップなど)を誘致します。 授産製品の販売、マルシェ、軽トラ朝市 など
5	観光情報拠点の形成	・新庁舎と、みんなの森 ぎふメディアコスモスで、観光情報の発信を強化します。 総合受付でのパンフレット配架や観光案内、情報モニターの活用 など
6	レストランの充実	・往來の利便性などから、現計画どおり2階に設置し、内容の充実を図ります。 メニューの充実、地元産食材の活用 など
7	南東部エレベーター の廃止	・このエレベーターは、①来庁者や職員の動線、②不測の事態に警察や消防機関などが対応する動線、③守衛や清掃業者による庁舎管理の動線といった機能を有するエレベーターとして整備を計画していました。 ・しかし、2018年4月の工事着工後、施工業者によるエレベーターの機種選定が進み、導入されるメーカーや機種、機能が概ね固まったため、それらを前提に、エレベーター全体の運用について、改めて検討を重ねてきました。 ・その結果、これらの機能は、AIなどを使った最新の制御機能の活用とともに、運用全体の効率化・最適化を図ることによって、新庁舎中央部の7基のエレベーターで代替が可能であるとの判断に至り、これを廃止することになりました。



これら以外にも、来庁者の皆様の利便性や快適性が向上するよう、引き続き、運用の充実を図っていきます。